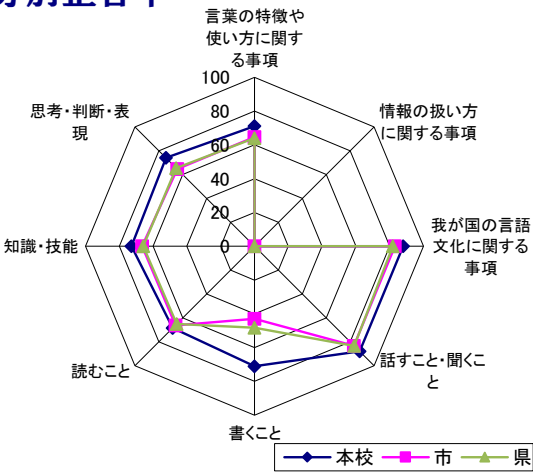


宇都宮市立東小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分               | 本年度  |      |      |
|-----|------------------|------|------|------|
|     |                  | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 71.1 | 64.7 | 64.1 |
|     | 情報の扱い方にに関する事項    | 0.0  | 0.0  | 0.0  |
|     | 我が国の言語文化に関する事項   | 88.0 | 83.1 | 81.9 |
|     | 話すこと・聞くこと        | 88.0 | 83.3 | 83.4 |
|     | 書くこと             | 71.0 | 42.8 | 48.2 |
|     | 読むこと             | 68.5 | 66.1 | 65.1 |
| 観点  | 知識・技能            | 72.8 | 66.5 | 65.9 |
|     | 思考・判断・表現         | 74.0 | 64.6 | 65.5 |



★指導の工夫と改善

| 分類・区分            | 本年度の状況                                                                                                                                | 今後の指導の重点                                                                                                                         |
|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉の特徴や使い方にに関する事項 | 平均正答率は71.1%であり、県の平均を7ポイント上回っている。<br>○既習の漢字の読み書きを問う問題の正答率は、どちらも県の平均を大幅に上回っていた。<br>●修飾語についての設問や、感情を表す表現の言葉についての設問では、県の平均をやや下回っている。      | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・「読むこと」での指導と同様に、基礎的な語彙の定着を図りつつ、多様な文章や表現に慣れ親しむ活動を多く取り入れることで、児童が修飾と被修飾の関係を捉えたり感情を表す語彙を活用したりできるようにしていく。 |
| 我が国の言語文化に関する事項   | 平均正答率は88.0%であり、県の平均を6.1ポイント上回っている。<br>○ことわざの意味の設問の正答率は約9割で、慣用句やことわざの意味をきちんと理解していることが見て取れる。                                            | ・「ことわざ」や「慣用句」「四字熟語」を使った短い文章を書いたり、会話や作文に取り入れたりするなど、触れる機会を増やす。                                                                     |
| 話すこと・聞くこと        | 平均正答率は88.0%であり、県の平均を4.6ポイント上回っている。<br>○話し合いの目的を確認し、意見の共通点や相違点に着目しながら、自分の考えをまとめる設問では、正答率が96%と、ほとんどの児童が正答することができている。                    | ・題意や話の流れに沿った自分の意見を言う場を積極的に設定し、自分の意見を述べたり、友達の意見の大切なことや理由を正しく聞いたりする活動を、繰り返し行い、自分の思いを表現する力をさらに高めていく。                                |
| 書くこと             | 平均正答率は71.0%であり、県の平均を22.8ポイント上回っている。<br>○アンケートの調査結果を読み取り、指定の字数で文章を書く設問では、どの設問も正答率が7割強となっており、児童の読み取る力およびそれを文章として適切に表現する力が身についていると考えられる。 | ・表やデータなど多様な内容や文章に触れる機会を増やし、そこから読み取れることや感じ取ったことなどを積極的にアウトプットする活動をたくさん取り入れる。                                                       |
| 読むこと             | 平均正答率は68.5%であり、県の平均を3.4ポイント上回っていた。<br>●登場人物の気持ちを具体的に想像する設問では、正答率が3割弱で県の平均を下回っている。                                                     | ・文章の内容を読み取り、自分の考えを根拠をもって表現する力は十分に身についていると考えられる。今後も、登場人物の言動や場面の描写に注目させる指導を行うとともに、登場人物の心情を適切に表現するための語彙をさらに身につけるために、読書活動を多く取り入れる。   |